

令和2年度新潟大学大学院現代社会文化研究科 博士後期課程における学位論文提出資格者 (Ph. D. Candidate) の申請及び審査について

学位論文提出資格者 (Ph. D. Candidate) 審査を希望する者は、下記の要領に従って申請してください。

1 申請者の要件

平成26年度以前入学者：本研究科に2年以上在学し、必修科目・選択科目を合計して10単位以上修得し、かつ2編以上の参考論文を完成させた者。

平成27年度以降入学者：本研究科に2年以上在学し、必修科目(特定研究Ⅰ，特定研究Ⅱ及び総合演習の各2単位)及び選択科目4単位以上修得し、かつ2編以上の参考論文を完成させた者。

2 申請手続

申請者は、事前に主指導教員と相談の上、令和2年4月22日(水)から23日(木)までに、以下の書類を人文社会科学系大学院学務係に提出してください。

- 1 学位論文提出資格者(Ph. D. Candidate)審査申請書(別紙様式)
- 2 学位論文作成経過報告書(別紙記入要領参照)
- 3 研究業績書(別紙様式)
- 4 参考論文(抜き刷り又はコピー)※
- 5 学位論文提出資格者(Ph. D. Candidate)審査 エントリーシート

1~4の左上をクリップで綴じ、正本1部・写5部の計6部を提出してください。

1~3は和文又は英文で作成のこと。5は1部のみ提出してください。

※参考論文とは、学位論文の基礎となる単著若しくは共著の論文又はその他審査の参考となるもので、学術雑誌に公表されたもの又は公表予定のものとする。

(公表予定のものについては、掲載確定を確認できる証明書等を添付)

共同研究あるいは共著である場合には、自己の執筆担当部分を明記するものとする。

(平成27年度以降入学者については、共著の場合、筆頭著者であるものに限り、参考論文として取り扱う。なお、学会の予稿集等に掲載されたものは、原則として参考論文とすることはできない。)

※各書類の氏名欄は、学生証に記載されている氏名を記載すること。

(特に留学生は、アルファベットの大文字・小文字に留意すること。)

3 筆記試験

5月14日(木)16:30から、人文社会学系棟B棟2階第一会議室において、専攻分野の学識及び研究能力を問う筆記試験を実施します。時間は120分です。詳細については、別途掲示によりお知らせします。なお、勤務の都合等により上記日程に筆記試験を受けられない場合は、4月23日(木)までに人文社会科学系大学院学務係へ申し出てください。

4 口述試験

5月14日（木）～5月22日（金）に、専攻分野の学識及び学位論文についての学識を問う口述試験を実施します。時間は120分です。実施日時及び場所については、申請者が主指導教員と連絡をとり、調整・決定してください。

5 審査結果

審査結果は、5月28日（木）17時に、掲示並びに現社研 HP にてお知らせします。

6 その他

資格取得後は、3年6ヶ月（休学期間を含みます）以内に学位論文を提出しなければなりません。資格取得後に退学した場合には、課程博士の学位論文を提出することはできません。

また、すでに学位論文提出資格を取得している場合でも、本人が希望すれば、学位論文提出資格者（Ph.D. Candidate）の審査を受けることができます。この場合も、在学中に学位論文を提出しなければなりません。